

3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が64.9%、「原因の調査が中心」が22.0%

〈統計表第25表参照〉

典型7公害の直接処理件数(46,577件)を処理方法⁸別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が30,248件(64.9%)、「当事者間の話し合いが中心」が871件(1.9%)、「申立人に対する説得が中心」が1,850件(4.0%)、「原因の調査が中心」が10,249件(22.0%)となっている(図20、表11)。

図20 処理方法別典型7公害の直接処理件数

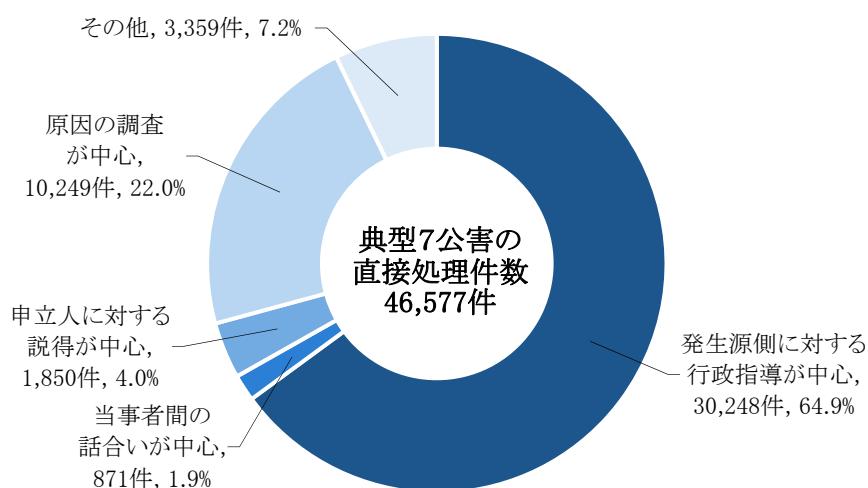


表11 処理方法別典型7公害の直接処理件数

(単位: 件)

公害の種類		合計	発生源側に対する行政指導が中心	当事者間の話し合いが中心	申立人に対する説得が中心	原因の調査が中心	その他
直接処理件数	典型7公害	46,577	30,248	871	1,850	10,249	3,359
	大気汚染	13,184	10,086	97	349	1,998	654
	水質汚濁	4,435	1,607	42	96	2,233	457
	土壤汚染	157	67	5	10	30	45
	騒音	17,500	12,009	516	880	2,667	1,428
	低周波	270	45	21	46	128	30
	振動	2,120	1,472	63	78	348	159
	地盤沈下	18	2	-	4	10	2
	悪臭	9,163	5,005	148	433	2,963	614
構成比(%)	典型7公害	100.0	64.9	1.9	4.0	22.0	7.2
	大気汚染	100.0	76.5	0.7	2.6	15.2	5.0
	水質汚濁	100.0	36.2	0.9	2.2	50.3	10.3
	土壤汚染	100.0	42.7	3.2	6.4	19.1	28.7
	騒音	100.0	68.6	2.9	5.0	15.2	8.2
	低周波	100.0	16.7	7.8	17.0	47.4	11.1
	振動	100.0	69.4	3.0	3.7	16.4	7.5
	地盤沈下	100.0	11.1	0.0	22.2	55.6	11.1
	悪臭	100.0	54.6	1.6	4.7	32.3	6.7

8 処理方法の区分は、「発生源側に対する行政指導が中心」「当事者間の話し合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類